

同時発表：観光庁

2022年10月5日

日本食・食文化発信レセプション「Taste of Japan in New York」にて**訪日観光促進プロモーションを実施！**

～食関連事業者・メディア・インフルエンサー等へ日本の観光魅力を発信～

- 日本政府観光局（JNTO）は、9月21日に開催された日本食・食文化発信レセプション「Taste of Japan in New York」に参加しました。
- JNTOのPRブースには岸田総理大臣も来訪。ごあいさつの中で水際対策の緩和に言及しつつ、早期訪日を呼びかけました。
- 米国の大手旅行専門誌「Travel Weekly」の編集長アーニー・ワイスマン氏によるプレゼンテーションや、プロモーション動画放映、PRブース出展等を通じ、食関連事業者や政財界要人、メディア・インフルエンサー等に対し、日本の観光魅力を発信しました。
- JNTOでは、10月11日からの水際緩和措置を受けて、本事業のほか、米国市場に対して、オンラインを活用した広告展開、高付加価値旅行を取り扱う旅行会社との連携強化、インフルエンサー等招請、一般消費者向けイベントへの出展事業等を通じ、訪日観光の促進に努めてまいります。

【JNTOの主な取り組み】・ 訪日旅行の魅力を伝えるプレゼンテーションの実施

アーニー・ワイスマン氏は、日本を「ラグジュアリー、アドベンチャー、サステナブル・ツーリズムが体験できる世界のリーディングデスティネーションの一つ」として紹介。「今ここで唯一伝えられないのは日本人が持つ温かい歓迎の気持ち。ぜひ日本に行ってそれを体験してほしい」と締めくくり、来場者の訪日意欲を高めました。

・ 観光PRブースでの訪日観光に関する情報発信

自治体やDMOが作成した英文パンフレットの配布とともに、酒造組合ブースが提供する酒の産地にあわせた観光エリアの紹介や、高付加価値旅行、サステナブル・ツーリズムの視点からの情報提供を行いました。



岸田総理大臣のJNTOブース視察

【岸田総理大臣のごあいさつ】

「来月から水際対策をさらに緩和していく。訪日して日本食を味わっていただく計画を立てていただきたい。」

【参加した旅行会社関係者からのコメント】

「個人旅行が解禁されたら、積極的に日本送客に力を入れられる。」「既に秋から来年にかけて多くの予約や問い合わせが入っている。」「訪日旅行は相変わらず人気なので、早くお客様に案内したい。」といった歓迎の声が聞かれました。

【お問い合わせ先】 海外プロモーション部 欧米豪・中東グループ 巽、羽田

TEL：03-5369-3335

E-MAIL: promotion_eao@jnto.go.jp

【Taste of Japan in New York 開催概要】

- 日時：2022年9月21日（水）18:30～21:00（現地時間）
- 会場：カーネギーホール
- 主催：農林水産省・JETRO・JFOODO
- 協力：観光庁、日本政府観光局（JNTO）、在ニューヨーク日本国総領事館、米国輸出支援プラットフォーム、国際連合日本政府代表部、国税庁、日本酒造組合中央会ほか農林水産物・食品輸出促進団体等



ワイスマン氏による観光プレゼンテーション



JNTO ブース